

「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」

～ 平和と文化・伝統を未来へ綱げて～

与那原町新庁舎 上の森かなちホール



ごあいさつ

与那原町長
照屋 勉



与那原町新庁舎及び上の森かなちホール落成の日を迎えるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

本施設は、町民の皆様がかねてより待ち望んでいた施設でございます。

この度、無事落成を迎え、町民の皆様と共に佳節をお祝いできることは、慶びに堪えません。

建設にあたり絶大なるご理解と、ご協力を賜りました町民の皆様はじめ、町議会並びに建設工事に関わりました関係各位のたゆまぬご尽力に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

新庁舎は、だれもが利用しやすいようユニバーサルデザインを考慮し、防災拠点の機能も兼ね備えた、町民が訪れやすい庁舎となっています。また、上の森かなちホールは、文化発信の拠点として、町民に親しまれる文化施設となっております。

これまでの各庁舎での業務を新庁舎に一元化することで、業務効率が向上し、町民サービスの拠点として、町民の笑顔が輝く町づくりを目指して職員一同、邁進してまいります。

結びに、与那原町の更なる発展のため、町民の皆様、関係各位の倍旧のご高配を賜りますようお願い申し上げます、あいさつといたします。

ひと・行政・文化の縁をむすぶ

高台からまちを見守る

市街地にほど近い小高い丘の一角に、与那原町の気候風土と高台の立地を活かした町のシンボルとなる「与那原町新庁舎」と「上の森かなちホール」の複合施設が2021（令和3）年4月10日に落成の日を迎え、5月6日から供用が開始されました。

地元特産品の赤瓦や煉瓦ブロックを外部ルーバースクリーンや庇、正面口ビー壁面に活用するなど、与那原町ならではの空間を創出しています。

また、誰もが使いやすいようユニバーサル・デザインを基本としてバリアフリーに配慮しながら、室内外に町民の憩いの場（ゆんたく広場）を設けることで、親しまれ愛される施設になっています。

さらに、新庁舎と上の森かなちホールの複合施設としたことで「ひと・行政・文化」の一体的な繋がりができ、利便性、情報提供、災害時利用など、さまざまな役割を担う建物となりました。



北側外観

基本方針

町民・行政・企業がともに協力し合える施設にしました。

住民サービスの向上、バリアフリー等を考慮し、誰もが気軽に利用できるようにしました。

1

協働・連携し、
みらいへ繋げる庁舎

2

すべての住民に
開かれた庁舎

3

安心・安全で
環境に配慮したやさしい庁舎

4

社会情勢に
対応した経済的な庁舎

5

住民に親しまれ
町のシンボルとなる庁舎

地球温暖化や環境に配慮し、災害時は
防災拠点として活用できるようになりました。

耐久性やメンテナンス性に配慮する
ことで長期的なコストを考慮しました。

与那原町らしいまちの顔、
住民に親しまれる施設にしました。

施設概要

名 称	与那原町新庁舎	上の森かなちホール
所 在 地	与那原町字上与那原16番地	
工 期	2019（令和元）年11月8日～ 2021（令和3）年3月19日	2019（令和元）年12月9日～ 2021（令和3）年2月26日
事業費（工事費）	約36億円	
用途地域	第1種住居地域 建ぺい率：60% 容積率：200%	
用 途	庁舎	ホール、保健センター
敷地面積	8,748㎡	
階 数	地上4階、地下1階建て	地上2階建て
構 造	鉄筋コンクリート造	耐震構造 ※通常の1.25倍以上に 耐力を高めた耐震構造
建築面積	1,376㎡	1,183㎡
延床面積	5,801㎡	1,811㎡
最 高 高 さ	20m	14m
駐 車 場	185台（内 おもいやり駐車場4台・大型バス1台・マイクロバス1台）	
駐 輪 場	20台	

与那原町新庁舎・上の森かなちホール完成

安心・安全な生活を守る3つの拠点施設機能

災害が発生すると、庁舎災害対応体制に迅速に移行します。町長室は災害対策本部長室となり、庁議室兼大会議室を対策本部とし、上の森かなちホールは住民の一時避難施設として災害者の一時受け入れ、ボランティアの詰所などに活用されます。また、近隣に避難施設としての機能を有する観光交流施設があることで、災害時の明確な役割分担も可能となり優れた機能連携が図られます。



災害時の役割分担と優れた機能連携が可能になりました

新庁舎配置図



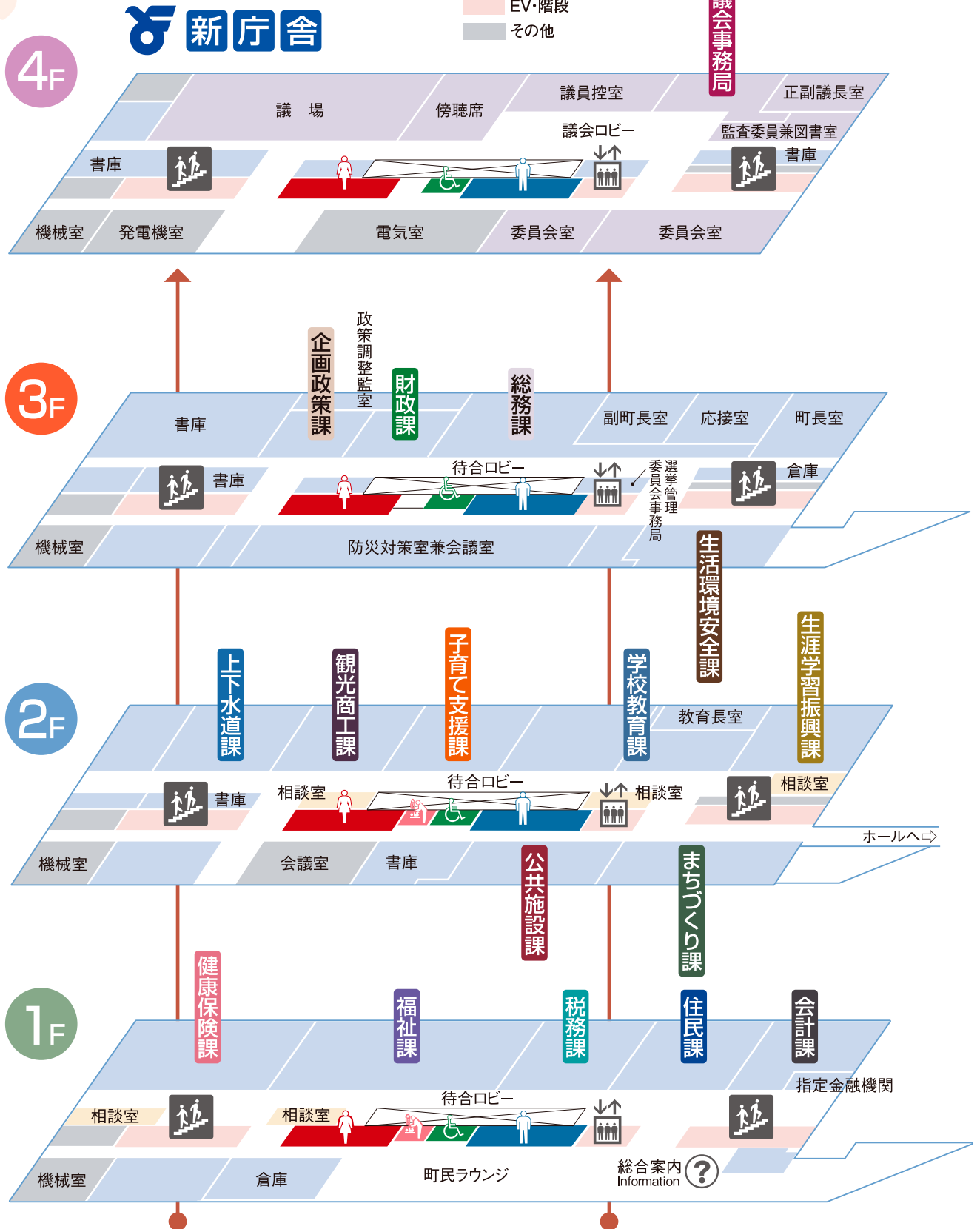


与那原町新庁舎 上の森かなちホール

フロアガイド



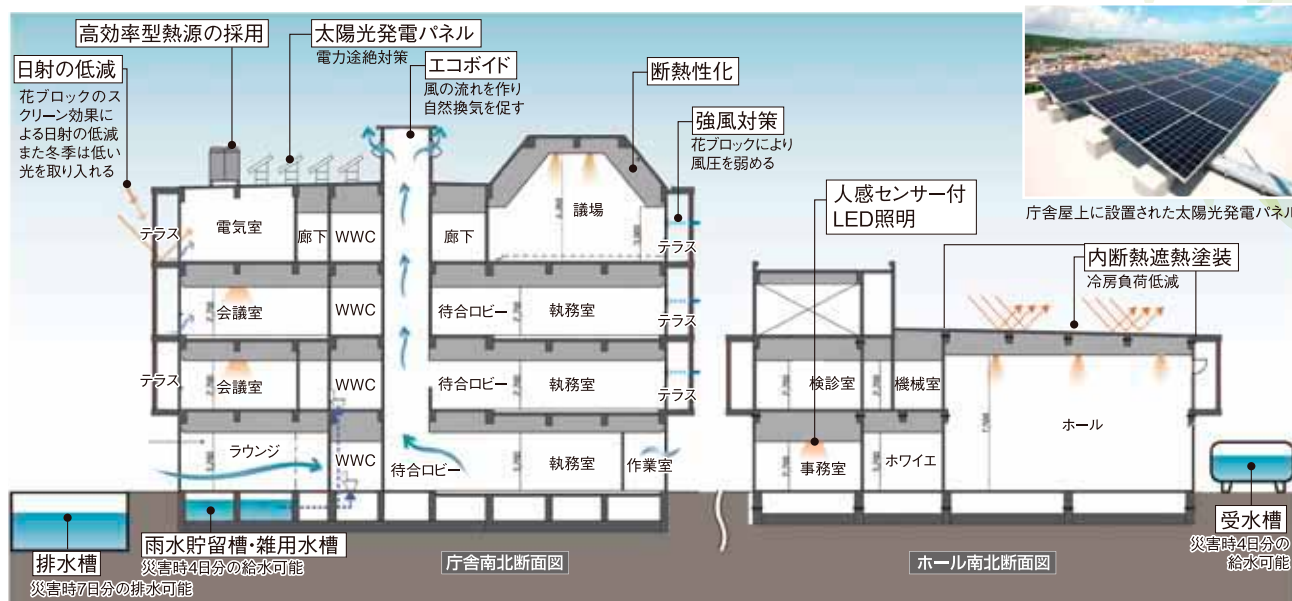
- 議会エリア
- 職員利用エリア
- EV・階段
- その他



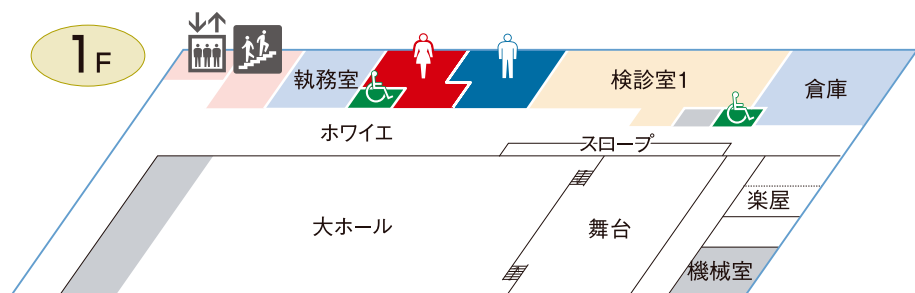
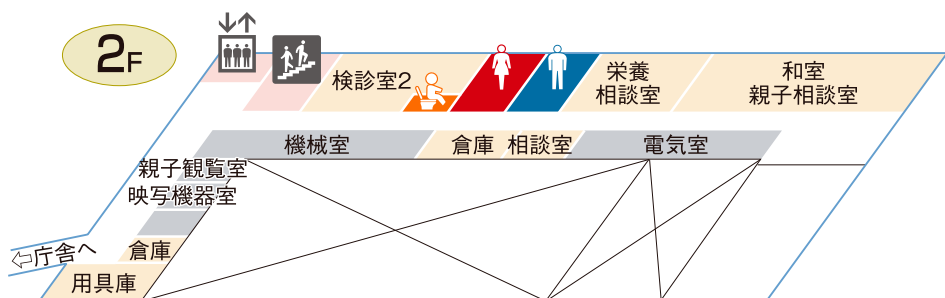
省エネルギー計画と安心安全な防災機能

自然エネルギー(雨水・太陽光)を利用し、高効率システム等の採用により、地球環境にやさしく経済性・メンテナンス性に配慮しました。また、災害時にも①～③の庁舎機能が継続できるようになりました。

- ① 電力途絶対策…連続168時間稼働な非常用発電機と10kwの太陽光発電設備で自立運転が可能。
- ② 給水途絶対策…飲料水及び雑用水を4日分確保できる受水槽と雨水を利用した雑用水槽を設置。
- ③ 下水道途絶対策…7日分の貯留量を持つ緊急排水槽を設置。…など平常時と変わらず使用できるようになりました。



上の森かなちホール



バリアフリー・ユニバーサルデザイン



多目的トイレ(新庁舎1階～4階・ホール1階)



授乳室 (1階・2階)



フラットで広い主玄関(メインエントランス)



おもいやり駐車場

1 Floor 利用しやすく、わかりやすい窓口



窓口カウンター

来庁者がもっとも多い課を集約配置し、見通しのよい待合ロビーを介して窓口の位置が分かりやすくしています。また、カウンターは、車椅子使用者や高齢者、子どもにも利用しやすい高さで使いやすさに配慮しました。



総合案内

町民ラウンジに面して総合案内を設置したことで、来庁者へのサービスが図られます。

与那原町ギャラリー



町民ラウンジ

出入口に町民ラウンジを設け、町民の情報共有の場や展示スペースとして利用できる他、期日前投票や税申告受付手続きなどにも対応する空間として活用することができます。



待合ロビー

吹抜けを設け、ハイサイドライトから自然採光を取り入れながら自然換気もできる省エネ構造となっています。



1 会計課 お支払
Accounting Division



2 3 住民課
Residential Affairs Division



住所の変更（転入転出）・住民票、戸籍の届出
謄本・抄本・住民基本台帳、印鑑登録・証明、
旅券、援護、マイナンバーカード



4 税務課
Tax Division
町県民税、法人町民税、固定資産税
軽自動車税所得（課税）証明
資産評価（公課）証明
原付バイクの登録抹消



5 福祉課
Welfare Division
社会福祉、介護保険、国民年金
障害者（児）福祉、高齢者福祉
生活保護
地域包括支援センター（福祉課内）
介護相談、ケアマネジメント



6 健康保険課
Health Insurance Division
国保班
国民健康保険、後期高齢者医療
保険班
特定健診、がん検診、乳幼児健診
予防接種、健康相談、健康づくり
保健指導



セキュリティと管理

主出入口に風除室を設け、強風対策と共に、人の往来を管理しやすく、セキュリティを向上させたレイアウトとしています。

2 Floor 関連性のある課の集約で移動を短縮



窓口カウンター・執務空間

執務室は柱や壁のないオープンな空間を基本とし、使いやすさを考慮した奥行きを確保することによって、将来の組織改編等にも柔軟に対応できるようにしました。



待合ロビー



教育長室



会議室



渡り廊下で上の森かなちホールへの移動もスムーズにできます



1 生涯学習振興課

Lifelong Learning Promotion Division

社会教育、公民館、町史編纂、文化財、
青少年健全育成、伝統・文化振興



2 学校教育課

School Education Division

教育委員会、学校教育幼小中学校
学校給食



3 子育て支援課

Child Care Support Division

児童福祉、幼稚園、保育所
子育て相談、子の貧困対策



4 観光商工課

Tourism, Commerce & Industry Division

観光振興、商工業振興、労働・雇用、
与那原大綱曳まつり、まちづくり推進協議会



5 上下水道課

Water Supply & Sewerage Division

上水道、下水道、水道料金、
水道の開栓・閉栓、給水・配水設備
工事申請



6 公共施設課

Public Facilities Division

公共施設(学校施設含む)の建設
維持管理、町営住宅



7 まちづくり課

Town Planning Division

道路、河川、橋梁、都市計画、開発行為
公園緑地、土地区画整理、農林水産

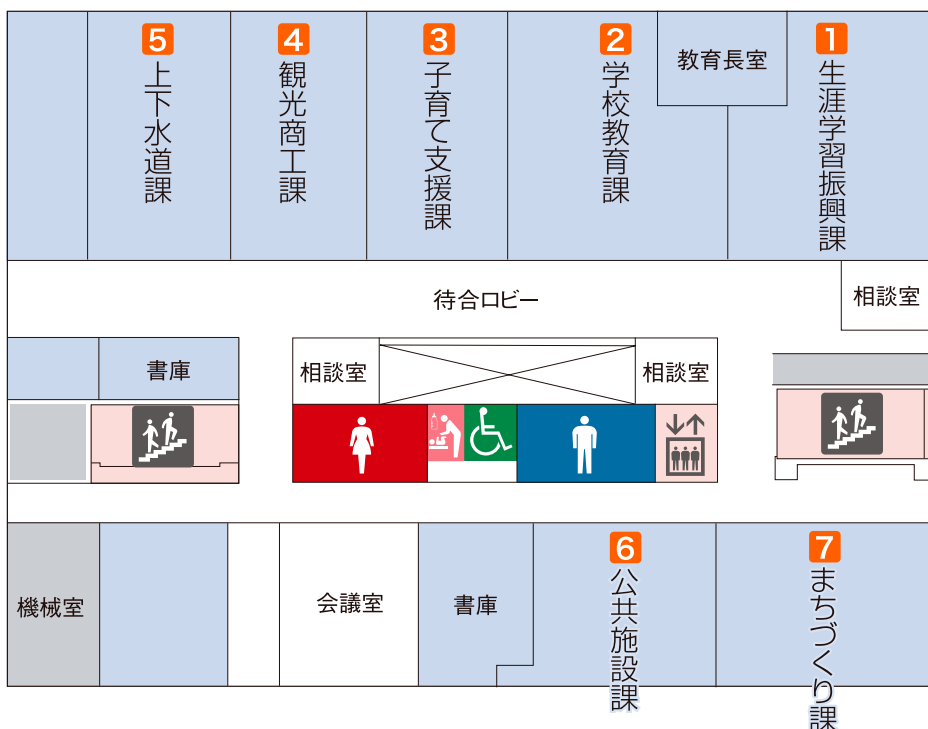
農業委員会



相談室 1



わかりやすいトイレサイン



3 Floor 災害時に迅速かつ機能的に対応



窓口カウンター・待合ロビー

総務・企画・財政といった行政の管理部門を配置し、連携が図りやすい配置となっている他、防災担当（生活環境安全課）を同フロアに配置することで、災害対策機能を高めるレイアウトとしています。



町長室



副町長室



応接室



防災対策室 兼 会議室

災害対策機能の中心となる防災対策室兼会議室や町長室、副町長室、防災無線室等を同フロアに配置したことで、最大限の機能が発揮できます。ふだんは会議室として、災害時は防災対策室として柔軟に活用ができます。



1 総務課

General Affairs Division

人事・給与、条例、広報・広聴、情報公開、統計、国際交流、情報政策、ふるさと寄付金、人権、男女共同参画

■ 選挙管理委員会 選挙、選挙啓発



2 財政課

Public Finances Division

財政、町有地、基金、予算



3 企画政策課

Planning & Policy Division

総合計画、地方創生、一括交付金事業総括、MICE施設建設関連、交通政策、土地開発公社



4 生活環境安全課

Living Environment & Safety Division

防災、防犯、飼い犬の登録、ごみ・リサイクル、環境衛生、公害、交通安全、墓地・改葬など



南側通路 (分かりやすいサイン表記)



防災無線室

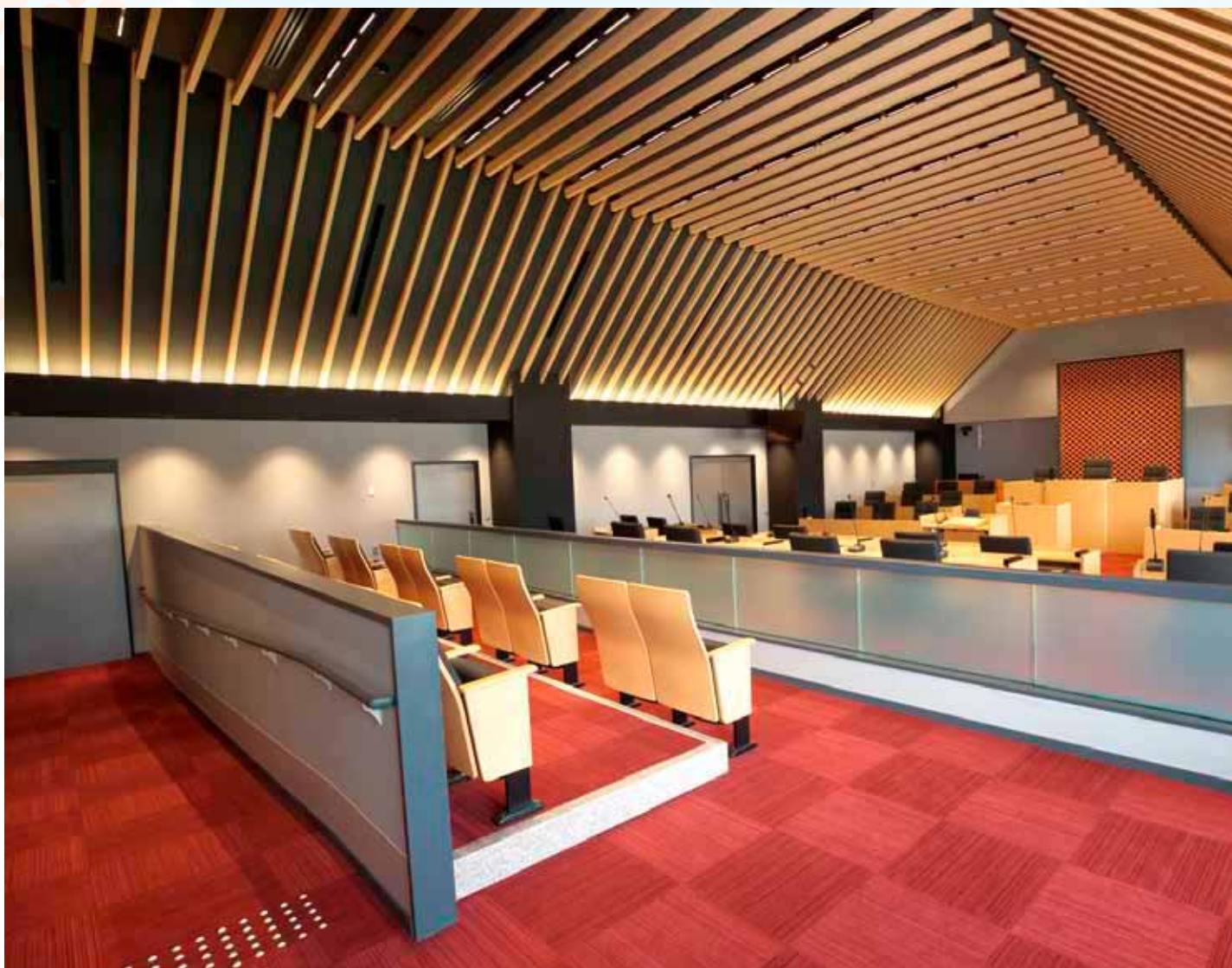


文書保管庫



特産品コーナー

4 Floor 町民に開かれた議会



議 場

4階に議会部門を集約しました。町民に開かれた議会をめざし、傍聴席は車イスの方でも利用できるよう配置し、また庁舎内のモニターでも町議会の様子を見れるようにしました。
万が一の浸水の影響を最小限に抑えられるために、電気室や発電機室を4階に配置しています。



正副議長室



議場（議長席側より）



議場(傍聴席側より)



赤瓦を使用した与那原らしいアクセントウォール



フロアロビー

議会事務局 監査委員事務局 兼 図書室

議会事務・監査事務全般



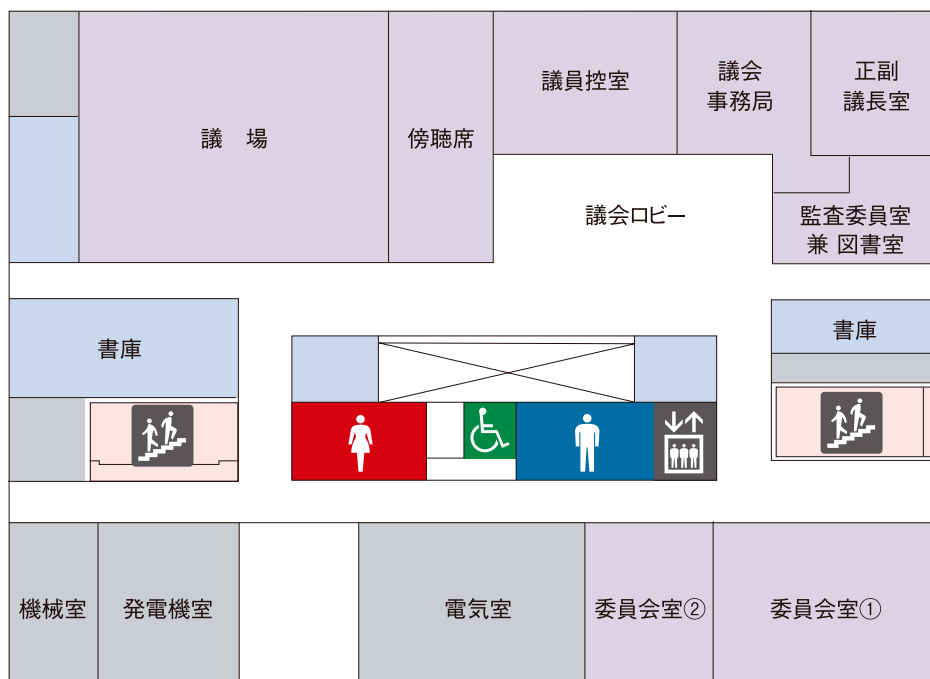
議会事務局



バリアフリー傍聴席



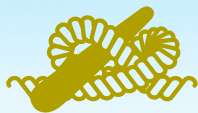
監査委員室 兼 図書室



委員会室①



非常用発電機



（可動式観覧席を採用）

「ロールバックチェアスタンド」と呼ばれる可動式の観覧席は242席設けられ、舞台や映画などの鑑賞に使います。さらに前方フロアに椅子などを設けることにより、最大で422席が使用できます。また客席とは別に親子観覧席も用意しました。ロールバックチェアスタンドを収納するとホール全体がフラットになり、懇親会や祝賀会、健診や幼児の運動会など幅広い使い方ができます。



（緞帳デザイン）

題「うねり」 与那原大綱曳の始まりの時。東西の綱を寄せ合い、雄雌のカナチを結合させる時。それは人々の様々な「想い」がうねり祭りが始まるまでの時間。

この絵は、こうした祭り前の「期待感」「高揚感」などを感じてほしいという想いを込めました。色彩は、東西で色相を分けながら、背景で全体の活気あふれる様子を鮮やかに表現しています。



（付帯設備も充実）

照明や音響設備は、さまざまな舞台芸術に対応できる機材をそろえながら、簡単な操作で扱えるよう配慮しました。舞台裏に3部屋ある控え室は、壁の一部は取り外しができ、フレキシブルに使用することもできます。





検診室1（会議や研修、ホール準備室として利用可能）



楽 屋



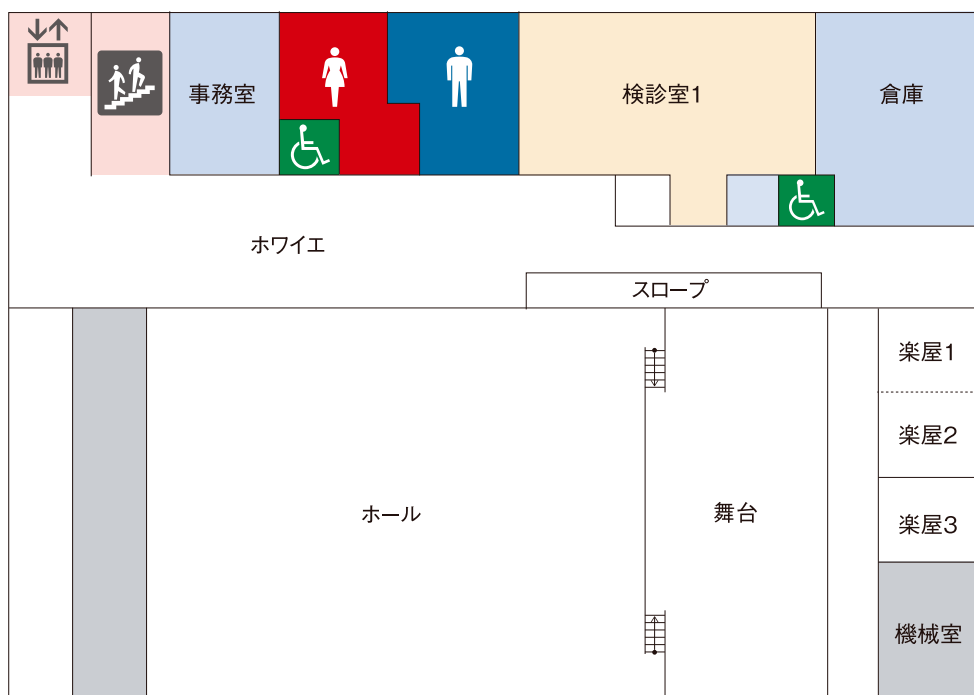
（ ゆんたく広場 ）

レンガタイルと琉球石灰岩で、赤瓦をイメージさせる町民の憩いの場を創出しています。すべりにくく、段差のないフラットなアプローチで、バリアフリーに配慮し、様々なイベントを開催できる広場となっています。



（ ホワイエ ）

町民の憩いの場となるゆんたく広場と一体利用ができる空間となるようホワイエを設けています。

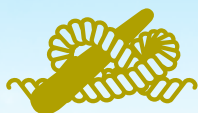


事務室、管理室



上の森かなちホール南側外観

2 Floor



与那原町上の森かなちホール

栄養相談室と和室を隣接配置することで各階で異なるイベントが同時に行うことができます。
渡り廊下で庁舎への移動ができるなど利便性に配慮しました。
また、キッズトイレを配置することで幼児への「トイレトレーニング」を行うこともできます。



映写機器室、親子観覧室



栄養相談室

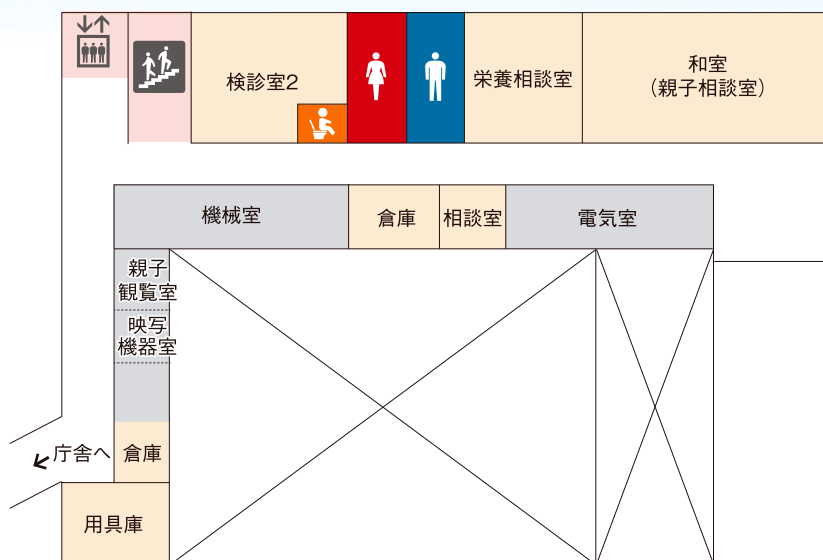


和室（親子相談室）



検診室2

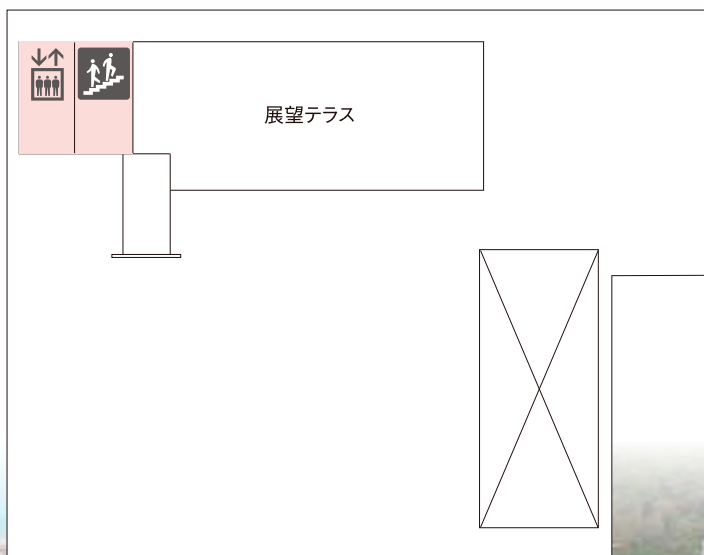




トイレトレーニングができるキッズトイレ



渡り廊下



3Floor

(展望テラス)

上の森かなちホール屋上は中心市街地を一望でき、花火も観覧できる町民の憩いの場として利用できます。



与那原町役場旧庁舎

与那原町は、1949(昭和24)年に1903(明治41)年から所属していた大里村から与那原・与原・大見武・上与那原・当添・板良敷が分町し、新しい自治体「与那原町」を形成しました。与那原町発足当時の人口は5,992人でしたが、2005年には東浜も設置され、現在では8,623世帯・20,083人【2021(令和3)年4月】の与那原町となっています。



分町後に町役場庁舎として使用された建物 1950(昭和25)年代頃



駅舎跡を利用した町役場庁舎(左は農業協同組合) 1964(昭和39)年5月



町役場庁舎 上の森に移転 1975(昭和50)年12月完成

与那原町の動き





役場上空 1974 (昭和49) 年頃



役場上空 1981 (昭和56) 年頃



役場上空 2021 (令和3) 年4月

与那原町新庁舎等複合施設整備事業の経緯

- 平成29年 (2017年) 3月・公共施設等総合管理計画(庁舎建設基本構想等含む)を策定
5月・庁舎整備基本構想を確認し、庁舎建替え方針の三役決定
6月・新庁舎建設基本計画策定業務 着手
8月・庁舎建設基本構想 住民説明会の開催
10月・庁舎建設プロジェクト会議(庁内会議)にて庁舎建替え方針の決定
・平成29年度庁舎建設検討委員会を設置、開催し町長より委員会へ諮問(新庁舎建設の実施・位置・規模について)
- 平成30年 (2018年) 1月・平成29年度庁舎建設検討委員会より町長へ答申(新庁舎建設を現庁舎位置にて実施する事)
・1月25日～2月13日 各区行政懇談会にて新庁舎建設計画について説明
2月・町議会「与那原未来をつくる特別委員会」にて新庁舎建設に関する検討結果の説明
3月・新庁舎建設基本計画策定業務 完了
6月・町議会「与那原未来をつくる特別委員会」にて新庁舎建設基本計画の説明
9月・新庁舎等複合施設基本・実施設計委託業務 着手
10月・平成30年度庁舎建設検討委員会を開催し町長より委員会へ諮問(新庁舎にて町民が利用する共有スペース・町民ホール・バリアフリーについて)
12月・平成30年度庁舎建設検討委員会より町長へ答申
・町議会近隣町村庁舎視察研修及び議場位置計画の説明
- 平成31年 (2019年) 2月・町議会「与那原未来をつくる特別委員会」にて新庁舎設計及び事業費の説明
3月・新庁舎等建設工事予算を議会にて可決
4月・旧庁舎 閉庁式
・新庁舎等複合施設基本・実施設計委託業務 完了
- 令和元年 (2019年) 5月・旧庁舎等解体工事 着手
7月・造成工事 着手
10月・旧庁舎等解体工事 完了
・新庁舎等に関する住民説明会 施設概要、事業費、事業期間の説明
11月・新庁舎建設工事(建築・電気設備・機械設備) 着手
12月・複合施設建設工事(建築・電気設備・機械設備・舞台機構) 着手
・新庁舎等工事 安全祈願祭
- 令和2年 (2020年) 1月・造成工事 完了
・1月27日～2月14日 各区行政懇談会にて新庁舎等概要説明
12月・新庁舎等複合施設 外構工事(1工区・2工区) 着手
- 令和3年 (2021年) 2月・複合施設建設工事(建築・電気設備・機械設備・舞台機構) 完了
3月・新庁舎建設工事(建築・電気設備・機械設備) 完了
・新庁舎等複合施設 外構工事(1工区・2工区) 完了
4月・4月10日 新庁舎及び複合施設(上の森かなちホール)落成式
5月・5月6日 新庁舎及び複合施設(上の森かなちホール)供用開始



解体前の旧庁舎 2018年(平成30)年4月



新庁舎 2021年(令和3)年5月

町民憲章

昭和六十年八月一日制定

一 みんなでつくろう

みどり豊かな美しいまちを

一 みんなでそだてよう

奉仕するところと福祉のまちを

一 みんなでめざそう

平和であかるい健康なまちを

一 みんなできずこう

かおり高い文化のまちを

一 みんなでのはそう

活気あふれる産業のまちを

与那原町章



与那原町の頭文字「よ」を波と飛鳥のイメージに図案化し、町の融和・平和・団結を表現すると共に産業文化の雄飛発展を力強く象徴する。

(昭和48年4月1日制定)

与那原町々歌

昭和五十六年六月一日制定

作詞 野田 猛良
作曲 城間 繁

一 朝陽に映える 上の森

中城湾の 風すがし

明ける町並み すこやかに

希望ほえみ 夢が呼ぶ

あゝ清新の 与那原町

二 大綱曳きの 意気通り

高き文化を はぐくみつ

伸びる産業 建設の

音青空に こだまする

見よ躍進の 与那原町

三 伝統つぎて はらからの

和と団結の あるところ

自治のいしずえ ゆるぎなく

理想の行手 ひらけゆく

おゝ栄光の 与那原町



与那原町役場 Yonabaru Town Office
〒901-1392 沖縄県島尻郡与那原町字上与那原16番地
TEL.098-945-2201 (代)

